

■ 空間・工業意匠研究室 担当教員：教授 比留間 真

本研究室は、組立建築、工業化住宅、建築の工業化・規格化といったテーマについて研究を行っています。歴史的観点からデザインや建築の役割について学びながら、新しい技術を活用したプロダクト製品から空間（主に室内空間）および空間構成要素（家具・什器など）の設計およびデザイン提案を行います。インダストリアルデザインに興味を持つ、または空間的要素を対象とする設計・デザインの素養を備え、プロダクトデザインからインテリアデザインおよび建築系の進路を志す学生を広く対象とします。

■ ビジュアルコミュニケーション研究室 担当教員：准教授 李 盛姫

本研究室では、多様化している社会や文化、日々進歩していくメディア・情報技術の中で視覚伝達に軸をおいたコミュニケーションデザイン研究を行う。ビジュアルコミュニケーション活動の仕組み研究、伝達ツールの提案や視覚要素における造形表現の研究を進める。

■ 生活文化マネジメント研究室 担当教員：准教授 氏家 和彦

本研究室は、人々の生活と文化性を基本にした伝達手法・伝達技術・伝達ツールと、それらの総合マネジメントを考える研究室であり、グラフィックデザインを基本とするが、総合提案に必要であれば、他分野（プロダクト・空間 他）も扱う。本研究室では、日々の生活や文化の中から研究テーマを探するため、物事や事象をよく見て考える姿勢を持つことが条件となります。

■ インテリア・家具研究室 担当教員：准教授 坂元 愛史

家具を中心とした未来の暮らし方について探っていきます。またデザイン基礎教育のより良い姿を求める研究も行います。インテリア分野ではこれからのあるべき生活について“コト”の構想と提案を行い、可能な限り実寸の“モノ”を制作します。教育分野ではデザインの専門教育の必要性、意義などを中心に考え、具体的な講義、演習、実習内容について提案と検証を行います。

■ プロダクトデザイン研究室 担当教員：准教授 谷上 欣也

生活を楽しく、豊かに、快適にするためのモノ（製品）のデザインについて研究する。単に便利なものではなく、それを使うことによって人の心までも豊かにするものを考える。人とモノ、モノと環境、モノとコトの関係についても考えて提案する。現在ある技術に留まらず、ある程度は将来実現性のある技術を採用する事を前提として提案することも可能とする。実社会におけるデザイン開発のように、十分な調査・分析を行ったうえでデザイン提案に結びつける。デザインプロセスを重要視する。最終提案では想定するターゲットユーザーによる検証結果を報告する。

■ 価値創造研究室 担当教員：准教授 西野 隆司

本研究室は、社会の様々な問題解決に提案を通じ、新たな価値創造を目指す。金銭的な価値に留まらず、心の豊かさ、自然の恵みなどにも目を向ける仕組みづくり、身の回りの小さな問題解決、異文化との交流、広義で地球環境問題の解決も課題とする。フィールドを重視し、外部での研究会などへ積極的に参加することが求められる。

Think globally, act locally. Cool Head, but Warm Heart.